

カ

ボ

い

タ

ク

び

チ

ら

つ

上

の

な

Ibitsu na bokura no katachi
by Homuro Mita

見多ほむろ





C O N T E N T S

A c t . 1	— — — — —	007
A c t . 2	— — — — —	047
A c t . 3	— — — — —	075
A c t . 4	— — — — —	103
A c t . 5	— — — — —	113
A c t . 6	— — — — —	139

I b i t s u n a b o k u r a n o k a t a c h i

b y H o m u r o M i t a

ねえ見て

あの子
なんか
かわいくない？

ほんとだ
おばあちゃんも
おしやれ

隣は
息子さん
かなあ

家族で
なんて
素敵ね

これは僕らが

お待たせ
いたしました

わあ！
すごい！

まあ、
贅沢なこと

よろしければ
お写真をお撮り
しましょうか

お願い
します！



このカタチに
なるまでの

とても小さく
普通で

ありふれた物語
ものがたり



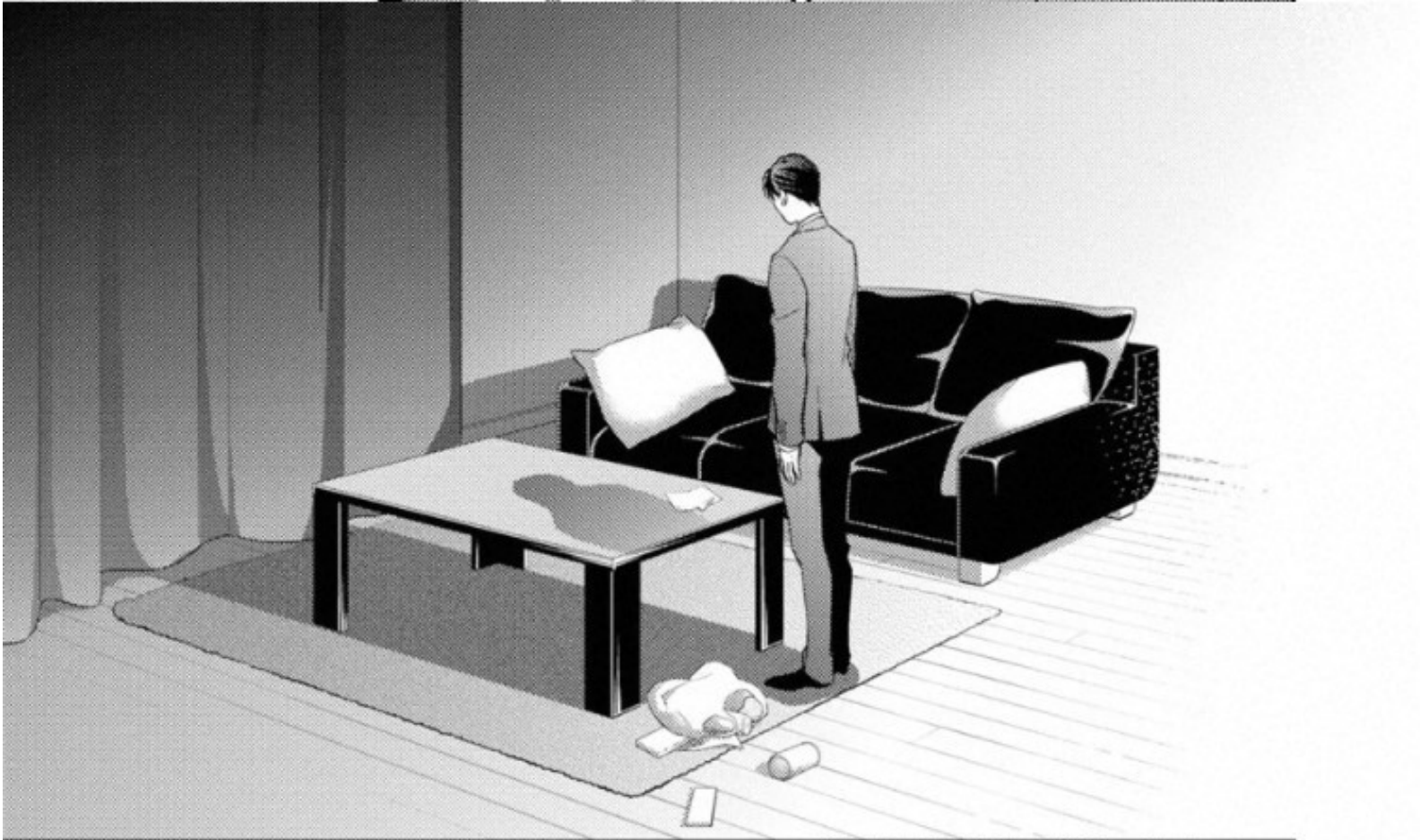
Ibitsu na
bokura no
katachi

Act. 1

Ibitsu na bokura no katachi
by Homuro Mita

はんとしまえ
半年前





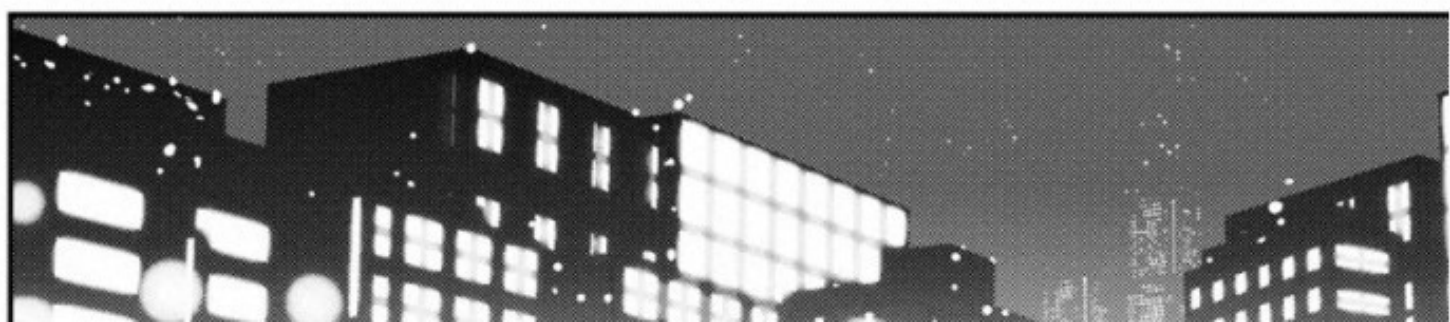
歳を
重ねていきたいと

こんな終わり方を
する相手と

思っていたなんて



7年も
暮らしていて







好きでさ



俺

この曲



ぶりがえしてしまっ

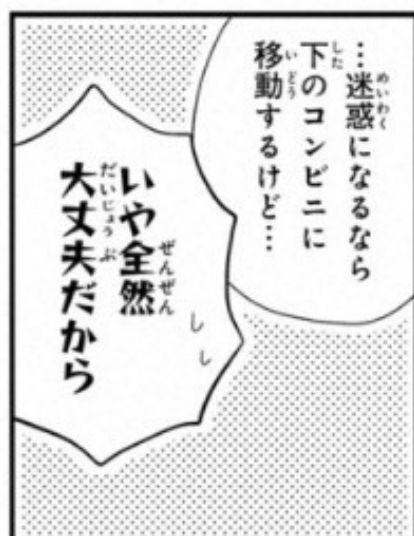


きこえてくるよ

かんたん
に



おっ？





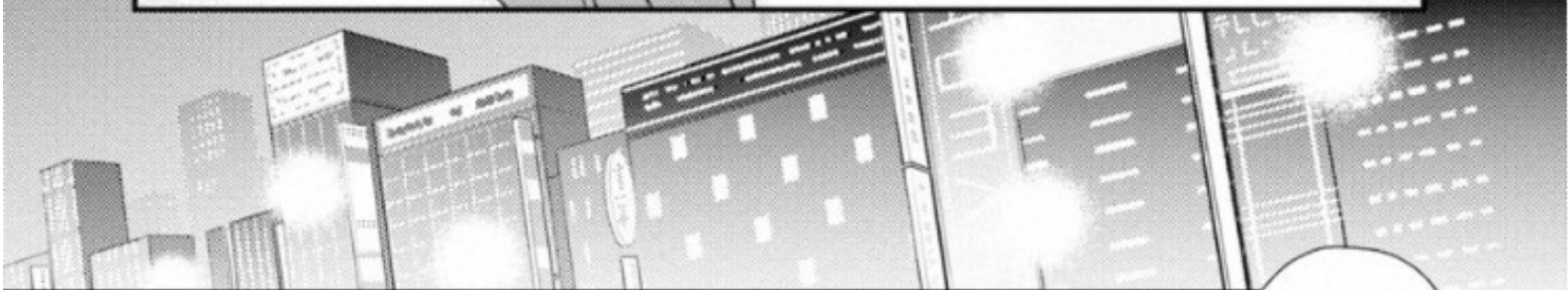




たとえば
子供のこの子と
こうしていないと

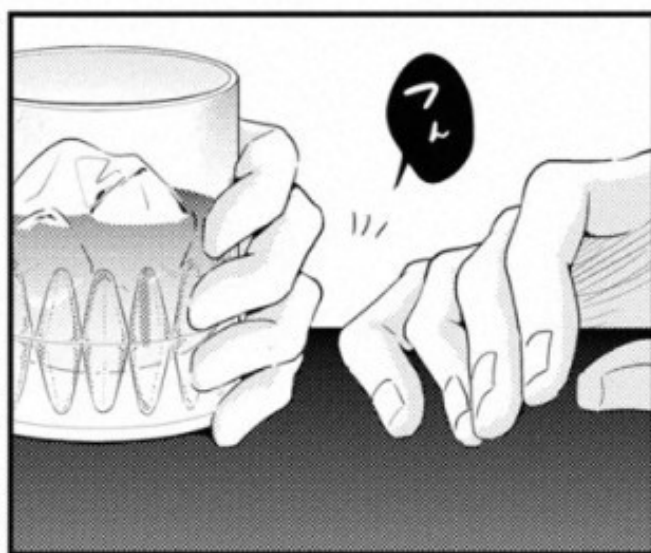
仕事に気を
とられてないと

未だに
過去を追いやれない



こんな年齢に
なってもまだ

…どうなのか



7年^{ねん}も暮^くらしてた
相^{あい}方^{かた}が突^{とつ}然^{ぜん}
消^きえたらなあ

消^きえた？
ど^どうい^いうこ^こと？？

理^り由^{ゆう}も説^{せつ}明^{めい}もな^なく
紙^{かみ}きれ1枚^{まい}
だ^だったみ^みたいよ

や^やだ^だな^なにそ^それ！

ホ^ホントウ^{とウ}が
わ^わか^から^らな^ない^いつ^つて^ての^のは
き^きつ^つい^いよ^よね

ま^まま
わ^わけ^ける^るわ^わけ
な^ない^いけ^けど^どね

ま^まま^まな^なん^ん

何^{なに}か

事^じ件^{けん}に巻^まき込^こまれ
た^たん^んじ^じや^やない^いか

俺^{おれ}に何^{なに}か
至^{いた}らないと^とこ^こが
あ^あつ^つた^たん^んじ^じや^やない^いか

い^いく^くら^ら連^{れん}絡^{らく}し^して^ても
答^{こた}え^えは^はな^なか^かつ^つた

せ^せめ^めて



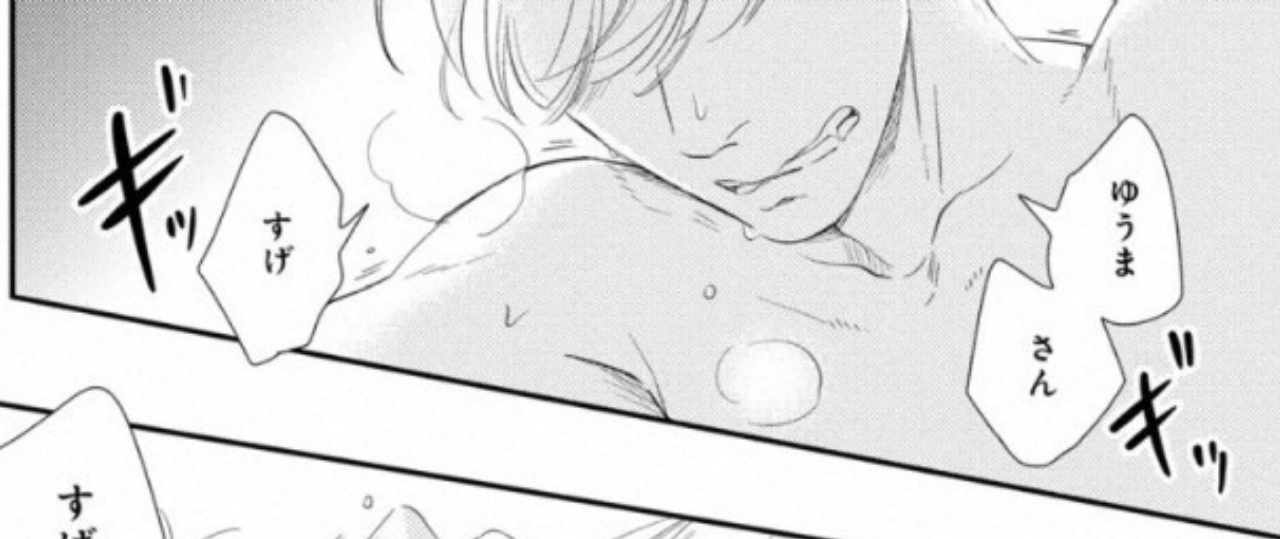
「セックスが合わない」
とか

なんでも
いいから

「好きな人ができた」
とか

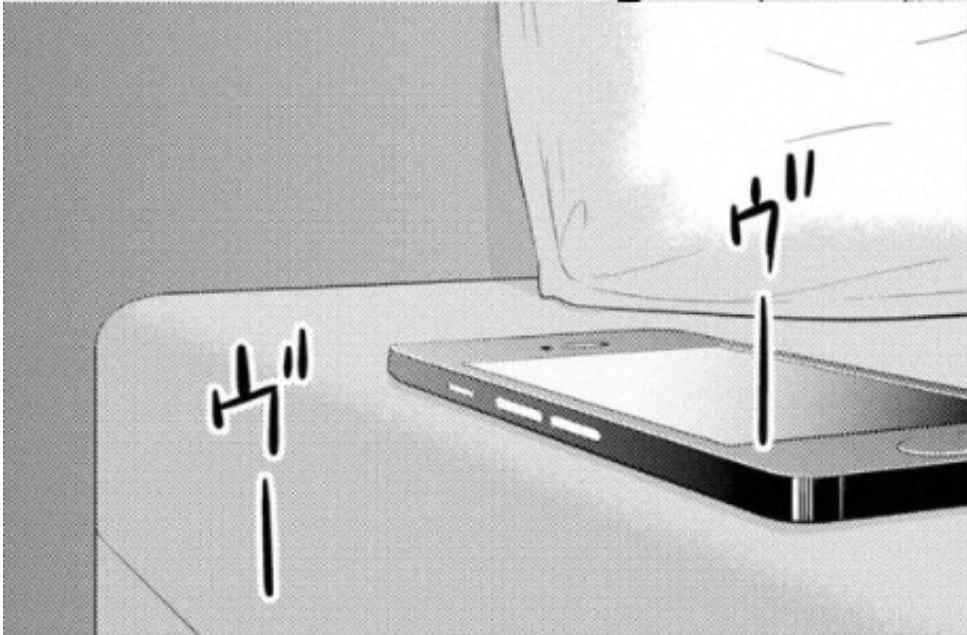
「答え」をくれれば





自分^{じぶん}が

7年間^{ねんかん}



幸せ^{しあわせ}であつたことを



香澄さん
すごく気丈だし

いちいち
あなたに言ったり
しないんだろうけど

でももう
歳が歳じゃない？

ちゃんとあなたに
知らせるべき
と思って……！

ひとり
で生活
できないわよ
あれ！

なんだよそれ

今日に限って
仕事が長引くし

先生の
ご孫は
才能は





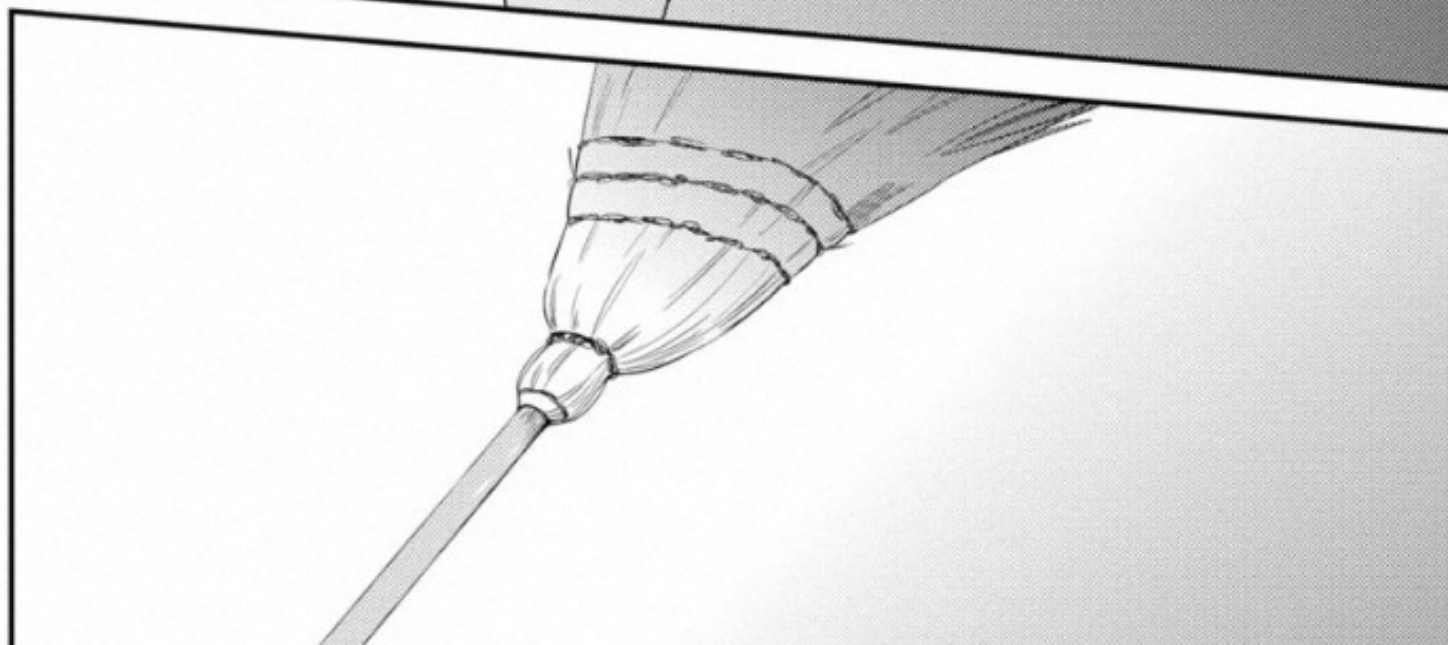
客...?
きやく

男の...?
おとこ



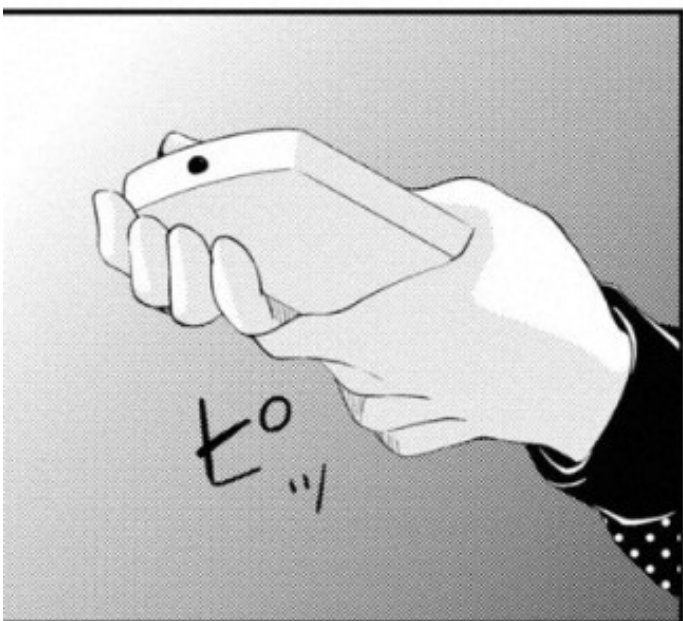
灯りも
つけず...?
あかり

こんな時間
じかん





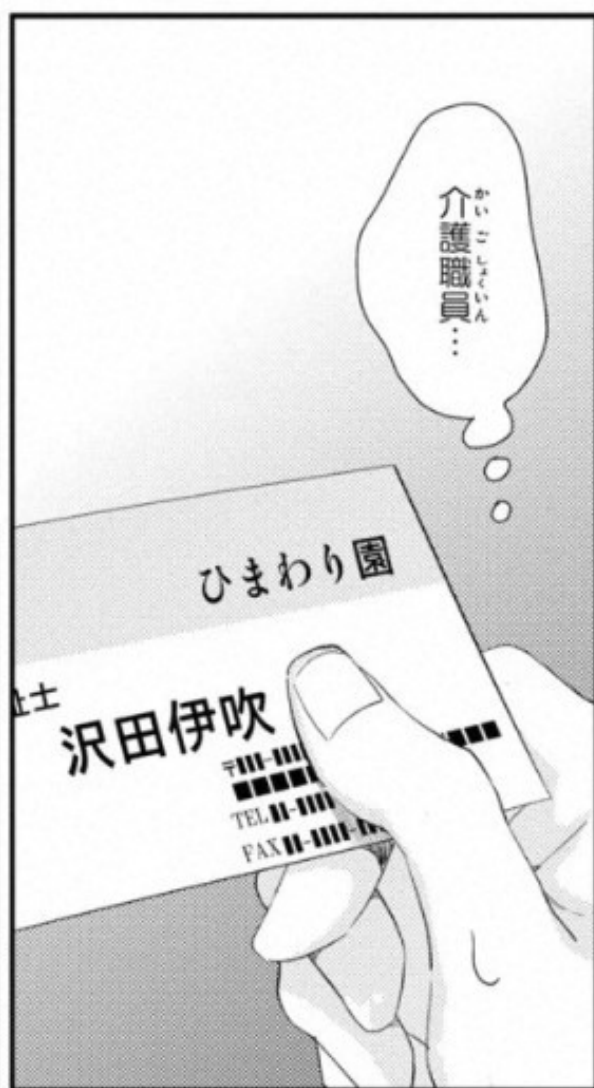






















うちと
おんなじような
境遇



か...







Ibitsu na bokura no katachi
by Homuro Mita



Ibitsu na
bokura no
katachi

Act. 2



けっこう
結構よ



あなたに
出戻ってきて
もらうほどの
ことじゃないわ



でも
昨日の子に…

伊吹君

伊吹君に

ベッドまで
運んでもらう
ほど…

彼は私の遊びに
付きあってくれて
いただけよ

……



神経切ったっていつでも
1日1ミリ程度
回復するらしいし

カッパ

なんの問題も
ないわ



じゃあ私
仕事あるから

え!?



いや...
まだ仕事
してたのかと...

...何

ギョッ



役立たず。

佑真



公民館で
歌教えてる
程度よ

あじゃあ
送る...

車で来てから
おっしゃって
くださいな

あし

『自分のことは
自分で』

そう
教えてきたのは
私でしょ？

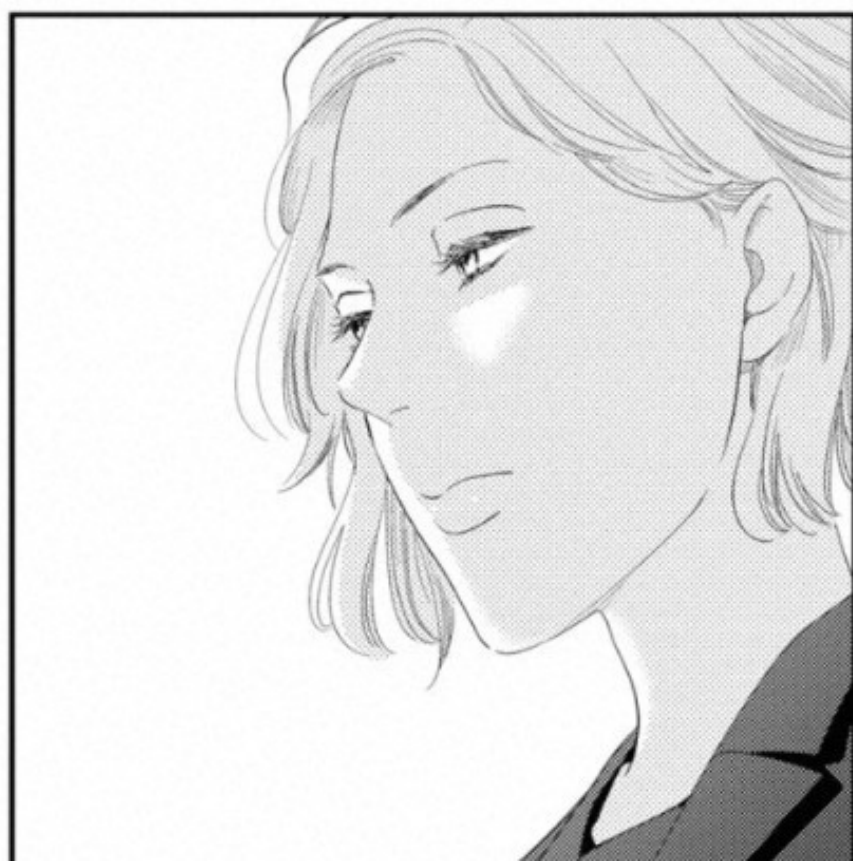
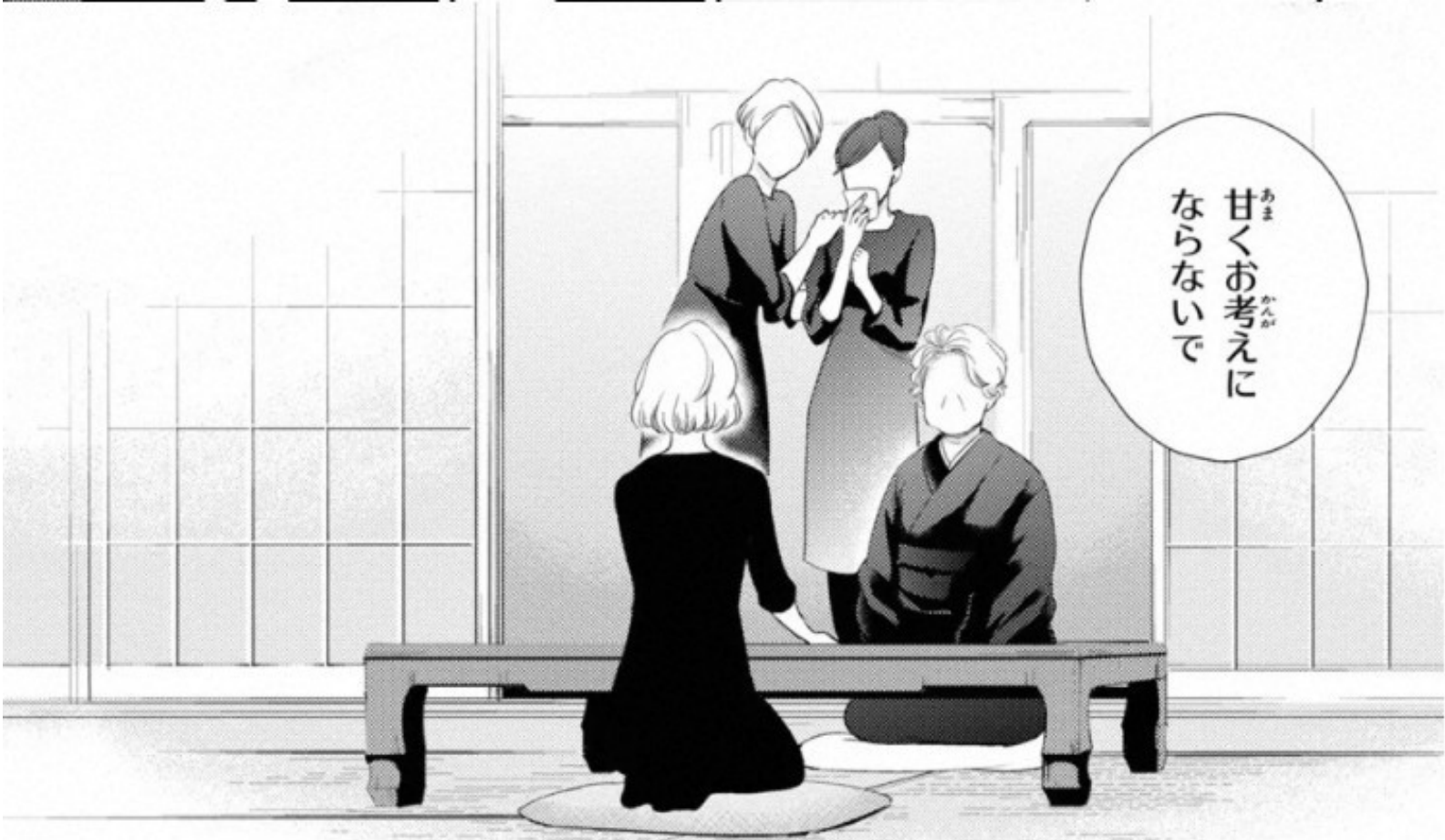
ひょい

…
そうだね

強^{つよ}がりなのか
強^{つよ}いのか

けれど









何も心配は
いらぬのよ



生前あまり
会うことのなかった
父の死よりも

泣かない母に
悲しくなつた

優しい
息子さんね





え



あれ…？

佑真君
優秀だし

礼儀
正しいし



『お孫さん』

今から
楽しみでしょ
ねえ

そんなこと
ないわよ

んん

…「孫」?

…そんな…

んん

…そんなこと
かんが
考えたこと…

だつて
いつか建ててあげたい
家にいるのは—



代わりますよ





俺なら香澄さんが
望むものを
与えてあげられます

舞花もいるし
怪我の面倒も
俺が見れます

…なにを
言ってるんだ

香澄さんに
家をあげ
共に暮らす夢を
みながら



なぜ男と



生涯を
共にしようと
していたんです？



わかってる
はずです



大丈夫ですよ



体が

動かない!!

あなたの
面倒も

俺が
ついでに――



『沢田伊吹の方が
よっぽど息子らしい』





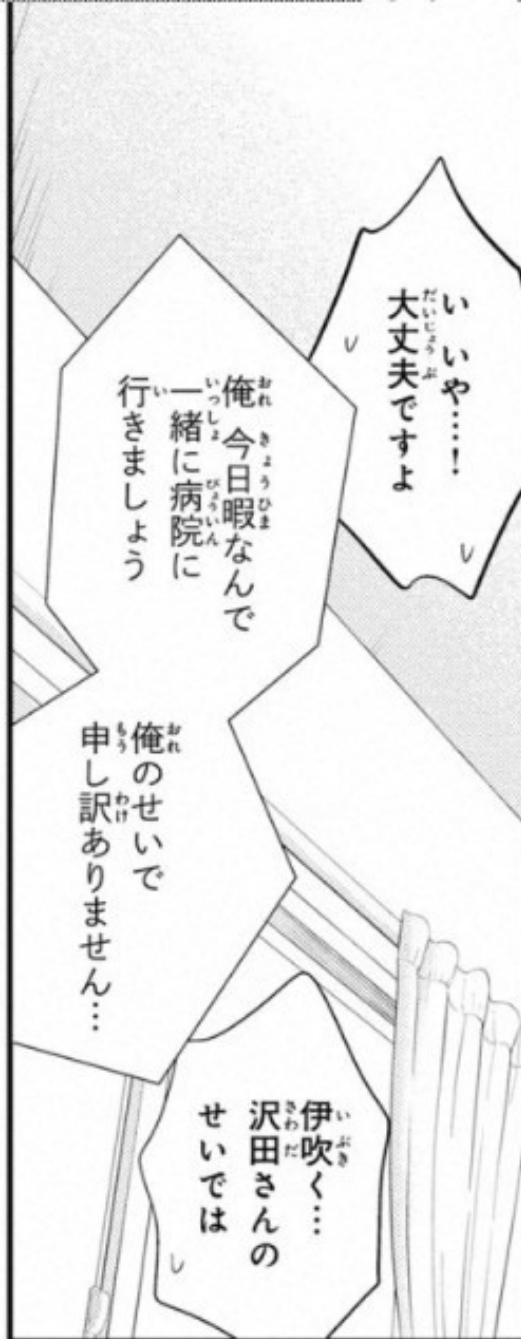
















なんか
随分この間と
雰囲気が違うような…

阿部佑真さん
5番治療室へ
お越しください

何言っ
て
るん
です
か!!
ちゃん
と
送
り
ま
す!

あ…
このあと
電気治療受ける
だけなのであとは
適当に帰りますから…

なに

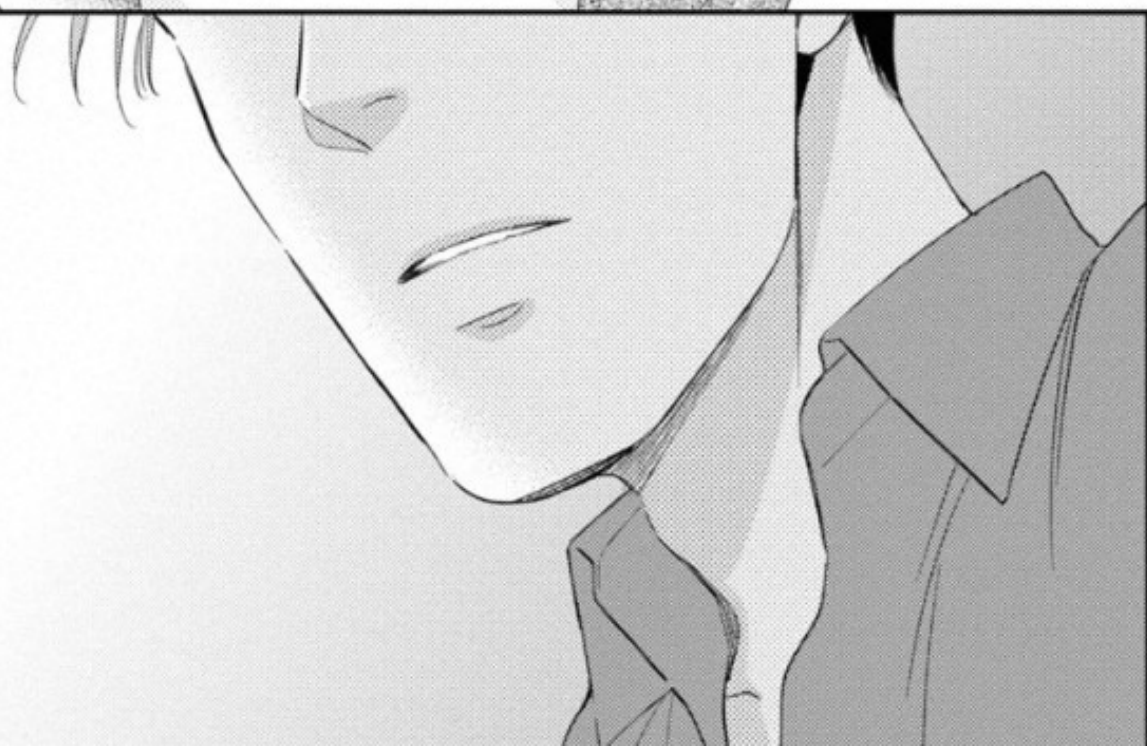
なに

はっ

すみません、

……







じゃあ車
いり口のほう
移動させてきますね

あ…ああ

ありがとう…



Act. 2 — END



Ibitsu na
bokura no
katachi

Act. 3





どうして
こうなった…

下降^{したお}りるついでに
そのゴミも
おろしましょうか？

いやいやそこまでは！
さすがに僕^{ぼく}がやり
ます…！

あ
はい！

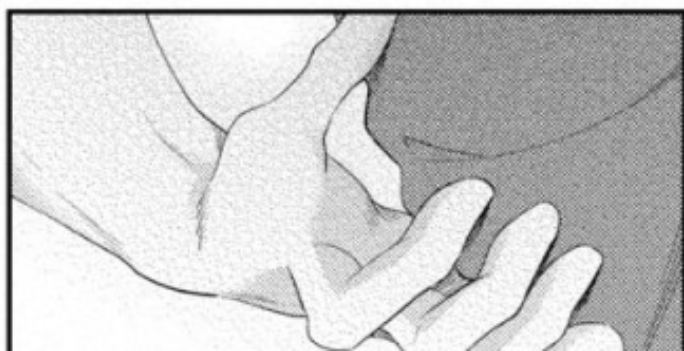
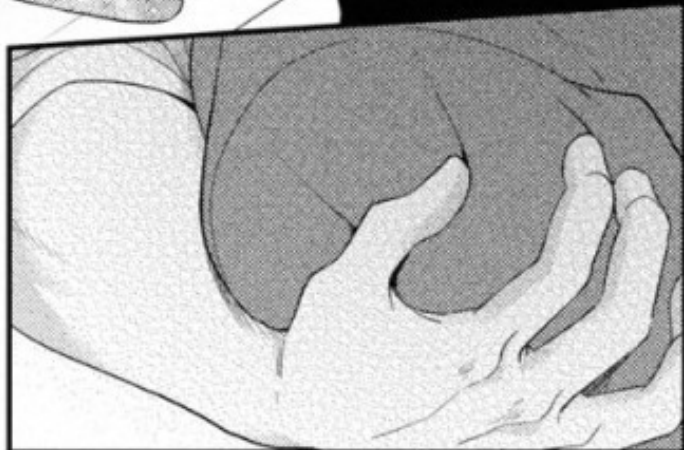
すみ
ません
そろそろ
舞花^{まいか}が帰^{かえ}る時間^{じかん}
なんで俺^{おれ}戻^{もど}ります

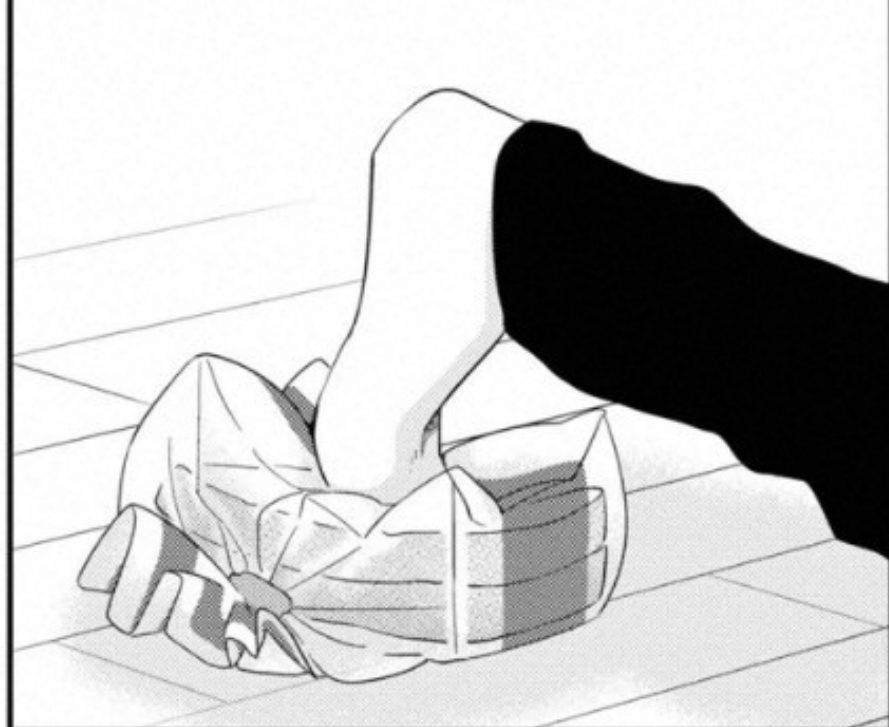
あぶない！

バ
ッ

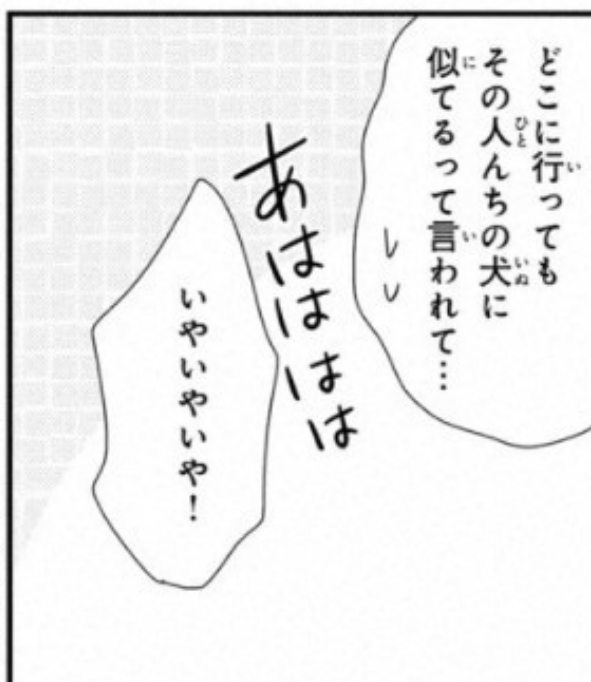
それより
これ
よければ…

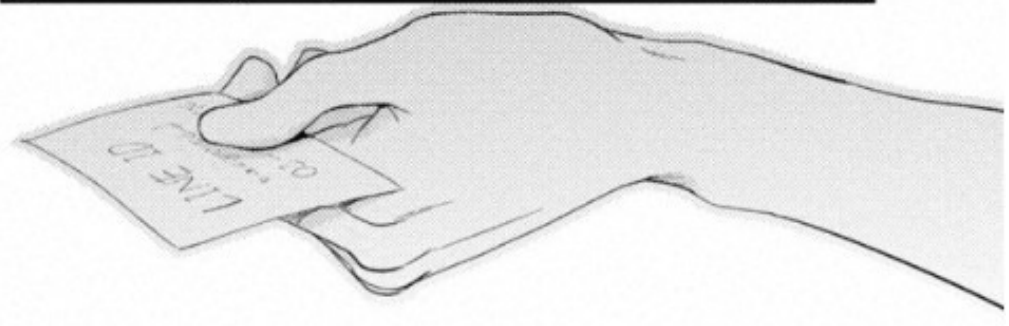
農協^{のうぎょう}みかん
農協^{のうぎょう}みかん













俺のためと
おも
思
っ
て

けれど

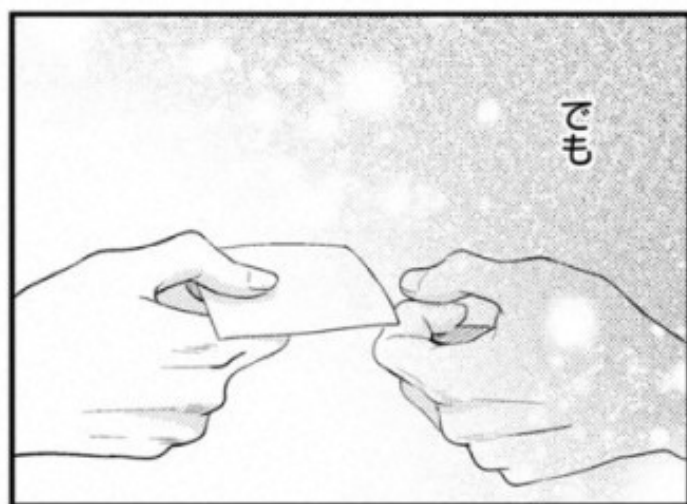
すこしだけ
違和感をおぼ
え

その言葉には

LINE ID
Ibuki Saito E11
090-0805-8110















よかった

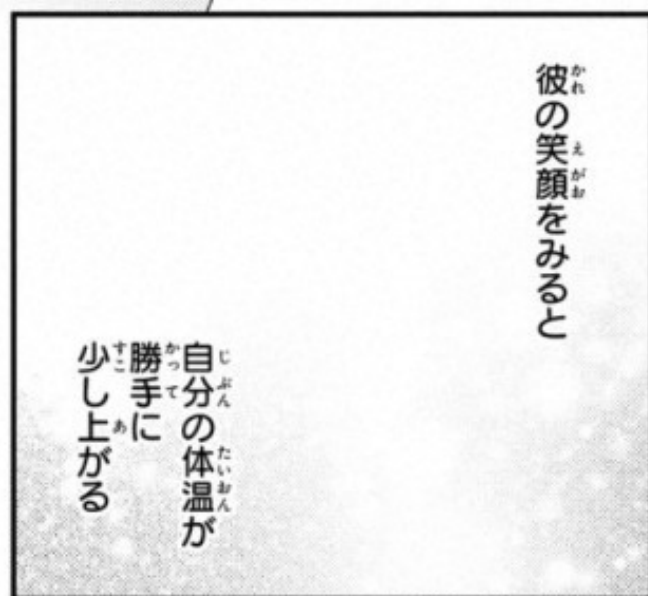
ほっ



具合の
方は…？

お陰様で
すっかり
回復しまして

そうですか…！



彼の笑顔を見ると

自分の体温が
勝手に
少し上がる

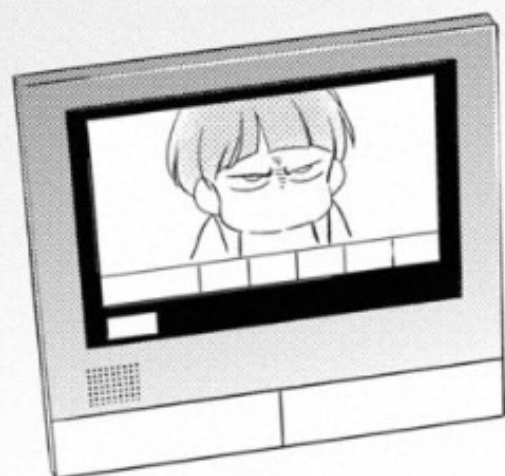


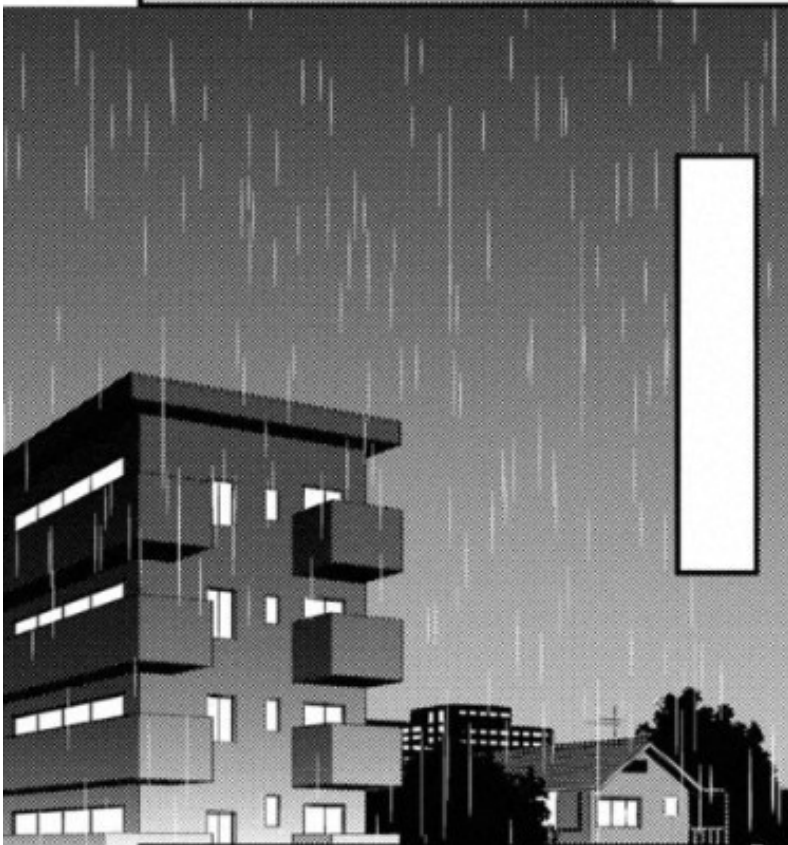
わかっていても

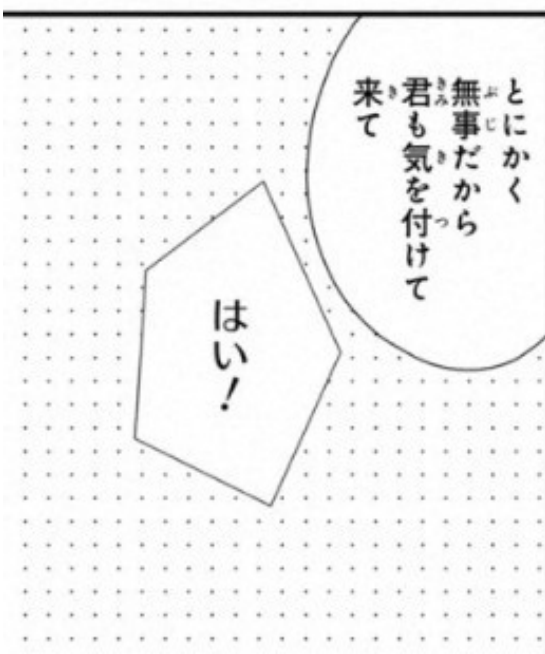




















怖い時ほど



顔をみて
話を
するの
が
大事
なんだよ



わからないと
人は
怖いんだ

何を
考えて
いるか
悲し
んで
るか
怒っ
てる
か

パパ
も
きつ
と
同じ
だと
思
う
よ



舞花
ちゃん
が
どう
して
るか
心配
で
怖い
と
思
う
ん
だ

だから
ちゃんと
パパ
の
顔を
みて
ちゃん
と
話
そう



な？





まいか
舞花もだいぶ
わる
悪いです…



いえなか
家の中ひっくり
かえして…



ごはん
ご飯に
ラクガキして



いえ
家まで
とびだすのは…



ぶじ
無事に先生の家に
ついたから
まだいいけど…
だれ
誰かに
さらわれたら
どうするんだよ



やっぱり
この子
すごいな…

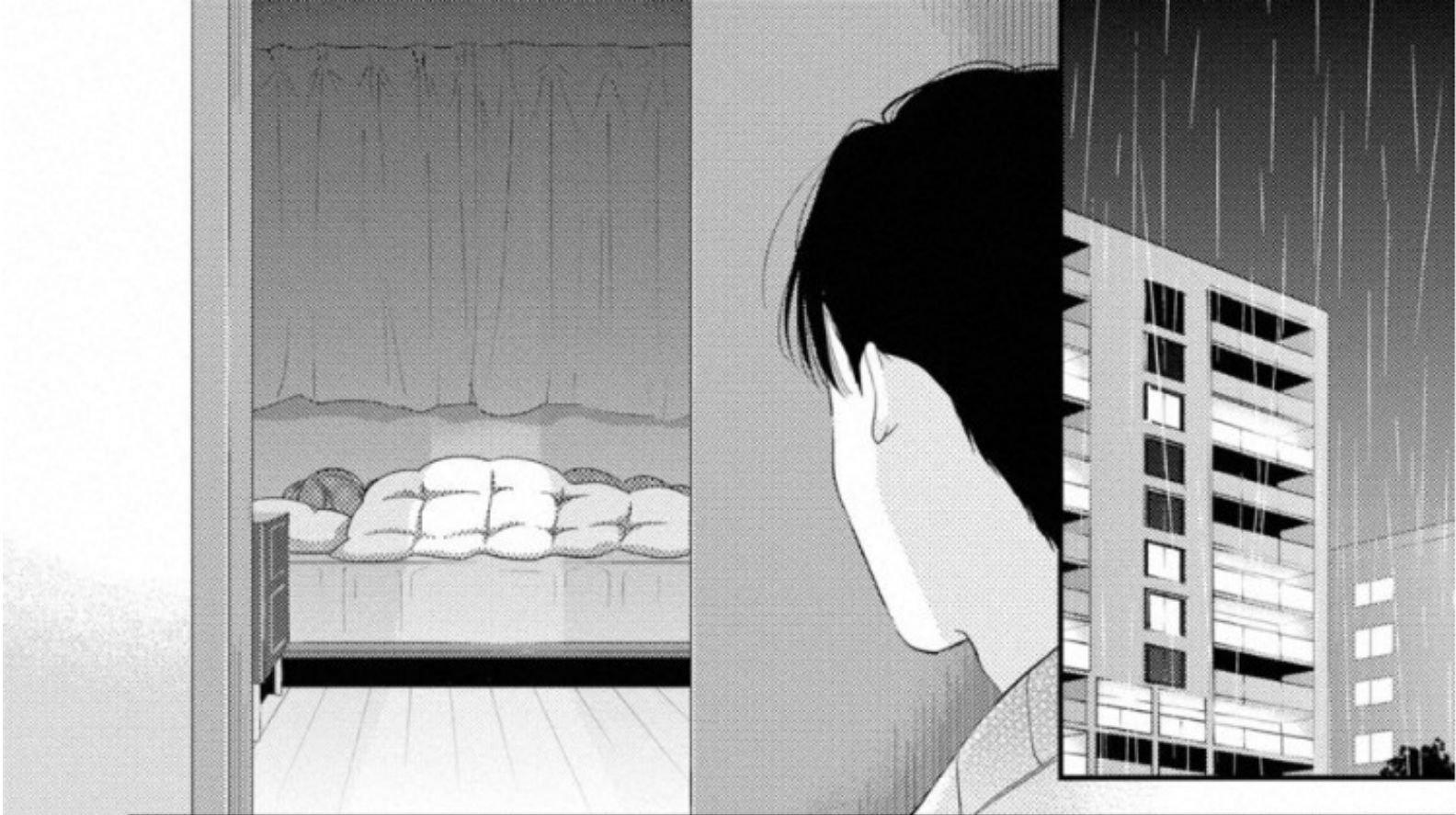


Act.3 — END

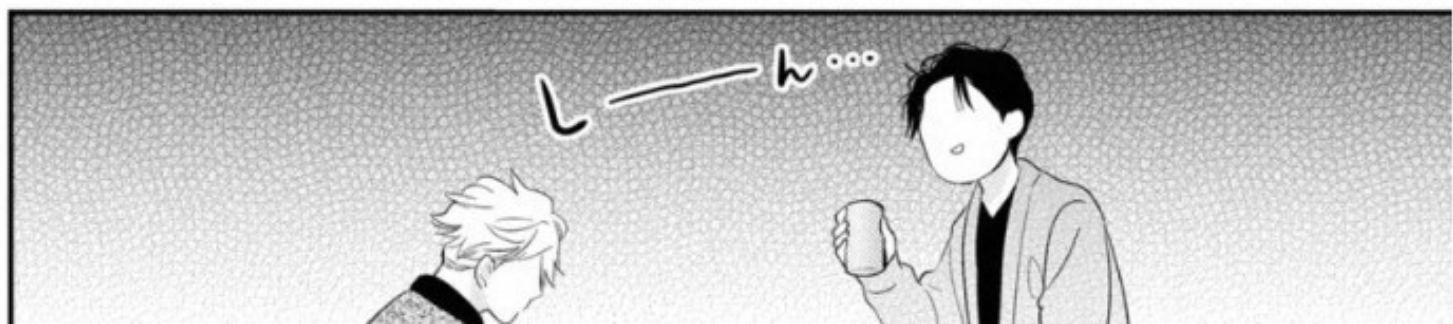
Ibitsu na
bokura no
katachi

Act. 4











本当はどうするのが
舞花にとって
正しかったのか…

あの子の
今後を考えたら
もっときつく怒るべき
だったのかも
しれません…

いつだって
何が正しいのか俺には…







僕もわからない

伊吹君

ほんほん
すめ
ません
ははは
泣き上りか

正解が

君にして
あげられることが

こんな
陳腐な慰め方じゃ
なんにもならない

気休めに
笑っていて
あげること
しかできない
なんて

君より何年も多く
生きているのに

俺の弱さに

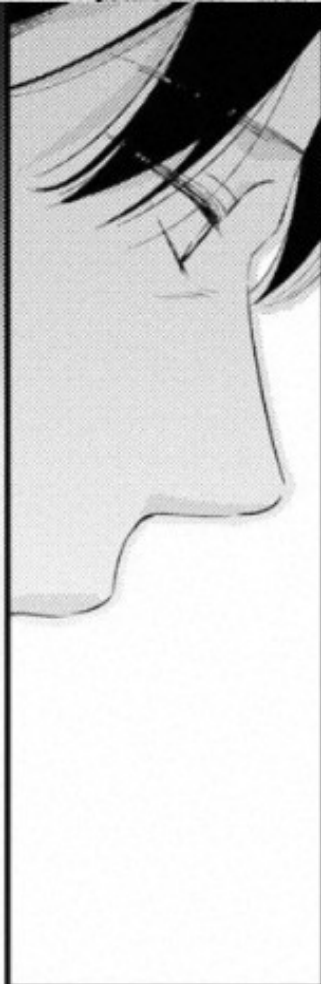
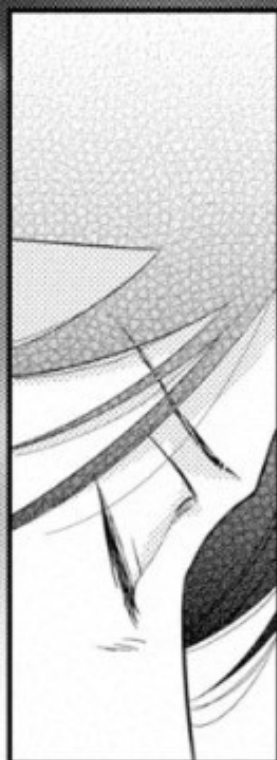


伊吹君
君にこそ必要な
ものなんだろう

そして

決して僕は
それになれない

舞花ちゃんにも必要な
その存在は





Ibitsu na
bokura no
katachi

Act. 5

Ibitsu na bokura no katachi
by Homuro Mita



マスターって…

お子さん
いましたっけ…？



いるわよ
見る？

あ
いや…

見て



…育児
ノイローゼとか…
なったこと
ある…？



まさか
ないわよ
うち別居だし
育児は全部嫁で
ほったらかしよ

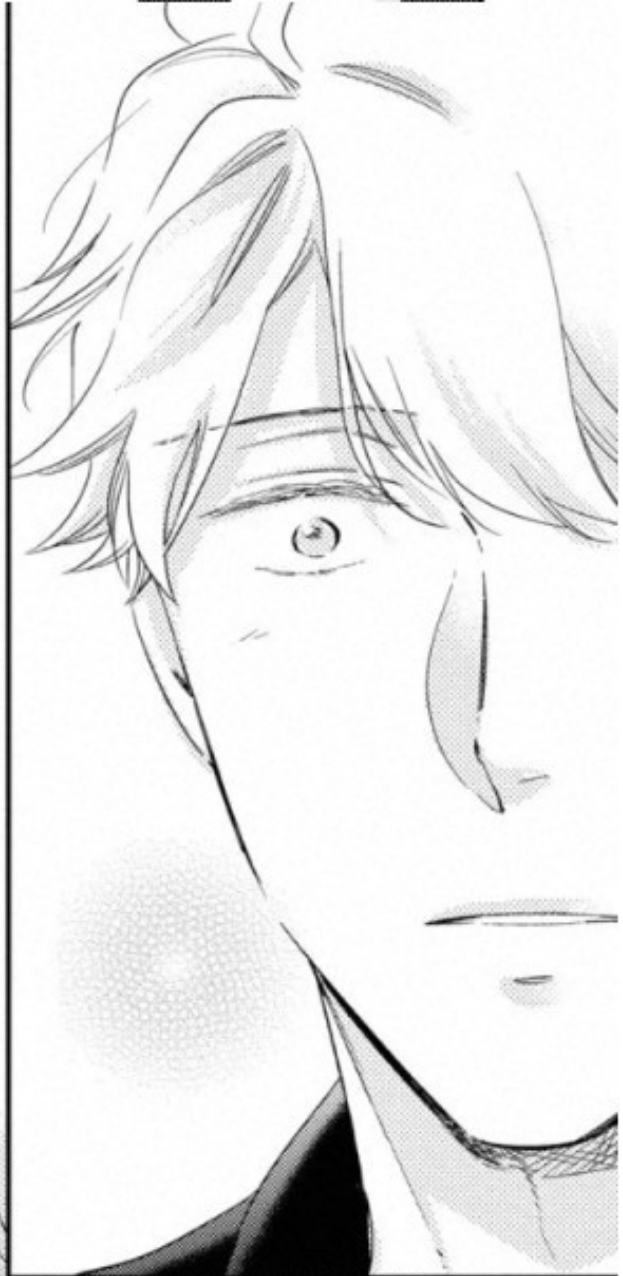


生意気だけど
超かわいいの

SNS
なんか
やってるんだ

娘がねやれって
同じような人たちの
励みになるからって







よかった
楽しそうだ



まったく
わかってなかった



そんな僕の
人間性が

浅くゆるく踏み込まない

ガッ

親身になったつもりで

上辺だけの
明るい所だけを見て

彼にとつては

動くとしまる縄のような
物だったのかもしれない

ばじやま
でしょー

歯ブラシ
でしょー

猫しやちよー
でしょー

えーつと…

パパく
いちごの靴下
かたっぽ
ないんだけど
どこー

んぐ
自分で
探せるでしょ…

夜勤明け

なかったから
聞ける
のにく!

てか舞花の
ペットで
寝ないでよく!









何もかも
わかってしまうその時が



彼女の中ですべてが繋がるその時が



恐ろしくてたまらない



カズ君
一児のパパ

子供はいるけど
うちは母に任せ
つきりだからなあ

よしおくん
こちらは二児のパパ

うちも
両親に預けつきり
お金だけ入れてるよう
もんなんだよね…

たけし君
こうみえて
4人の子持ち

俺は適当主義だから
あまり悩まない
だけども

うちの常連の
シングルファザー
集めたんだけど…
たいして参考に
ならなそうね…

いや
そんな
ことは…

よし
4人？!

まさか
ひどい

佑真くんだったけ？
子育てで
悩んでるの？

あ
俺ではなく
友達が
悩んでまして…

シングルファザーの
サークルあるの
知ってる？

いえ
知らないです











それだけ
じゃないでしょ！

さっき
あなた自分で
何を言ったか

聞こえて
たのか

ならもうなにも
隠すこともないな…



聞こえてたなら
二人が悪くないのは
わかるだろ…？

僕が誘ったんだ

驚かせて悪かったよ
僕はそういう人間なんだ

とりあえず
手を離して…



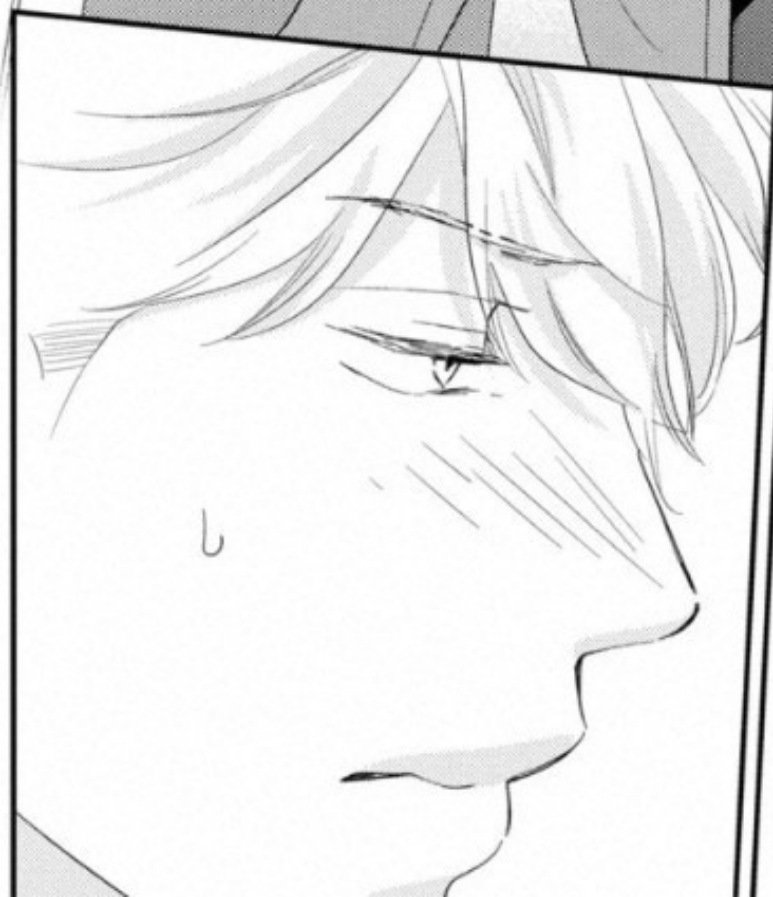


はーん



……
伊吹君
いぶきくん

そろそろ
はな
離して
くれても……





あんな風^{ふう}に
いつも
誰でも誘^{さそ}うん
ですか…



……
伊吹^{いぶき}君^{くん}
落ち着^{おち}け

君^{きみ}相当^{そうとう}
酔^よってる…

いいえ



あなたの望^{のぞ}み通^どり

めちやくちやにできる
ぐらいには正^{しょう}気^きです





Ibitsu na bokura no katachi
by Homuro Mita

Ibitsu na
bokura no
katachi

Act. 6



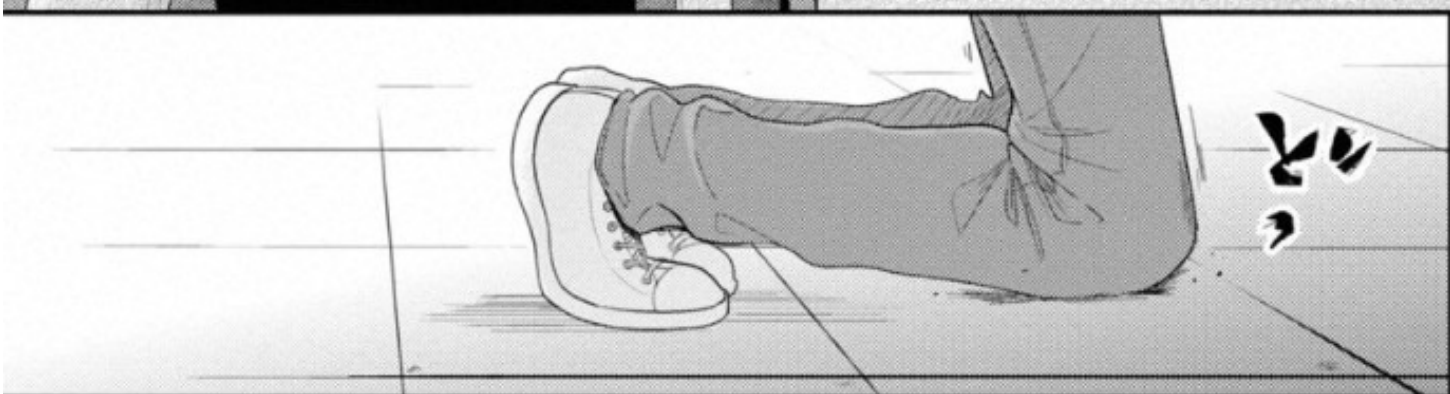














苦くるい



あれ
人っぽくない……？

あー？

ねえ



「ハヤ
早く!!」

救まわって
いってだっけ

死んでる!?

ガチじゃん!

体が重い



佑真さんがいる

いまわのきわの
願望ってやつだ



でもわかる

願望^{がんぼう}…

そうか願望^{がんぼう}だったのか…

もっと早く^{はや}
こうされたかった
気がする

でもなんで
しなかったんだっけ

舞花^{まいか}の存在^{そんざい}
忘れてたでしょ

忘れるわけ^{わす}
ないだろ

ほんと？
宇宙^{うちゅう}一大事^{いちだいじ}？

だいじだいじ
大事大事

パパ！

そうだ
舞花^{まいか}

なら教えて^{おし}
パパ

なにを？

まいか
舞花に何を
ないしょ
内緒にしているの？



目が覚めた
みたいで

どうしました!?



舞花!!

舞花!!

落ちてっけ
伊吹君!











あらそう



30



怒ったの？
あの子が？

はい
たぶん…



？

そう

やだ
あの子



お母さん僕
ピアノコンクール
とか出るの
辞めたい

なんで？

ちいさいころから
なんかちよつと
変わってた
っていうか



あの子ね
今時珍しくもない
かもしれないけど

反抗期が
なかったのよね

好きなことで
どうして
競争しなくちゃ
いけないの？

闘争心？
みたいなものが
薄いっていうか

そういう個性も
ありかなーって思う反面
将来が心配で



でもあるとき
小学校の運動会の
リレーでね



ばかよね
折角1位で
バトン貰ったのに

クラスの皆が
褒めてくれたのが
唯一の救いよ





でもあの時^{とき}にやっと
この子^こはこれで
いいんじゃないかしら
って思^{おも}えて



腎臓^{じんぞう}だったんだけど
どこで知^しったか
自分の腎臓^{じんぞう}をあげるって
言^いいだしてきかないの

あんまりに
きかないから
私もバカみたいに
ムキになっちゃって



そんなあの子^こと
一度^{いちど}だけ大喧嘩^{おおげんか}したの

私^{わたし}の手術^{しゆじゆつ}のこと



後^{あと}にも先^{さき}にも
それっきりだったわ
あの子^こがムキに
な^なって怒^{おこ}ったの



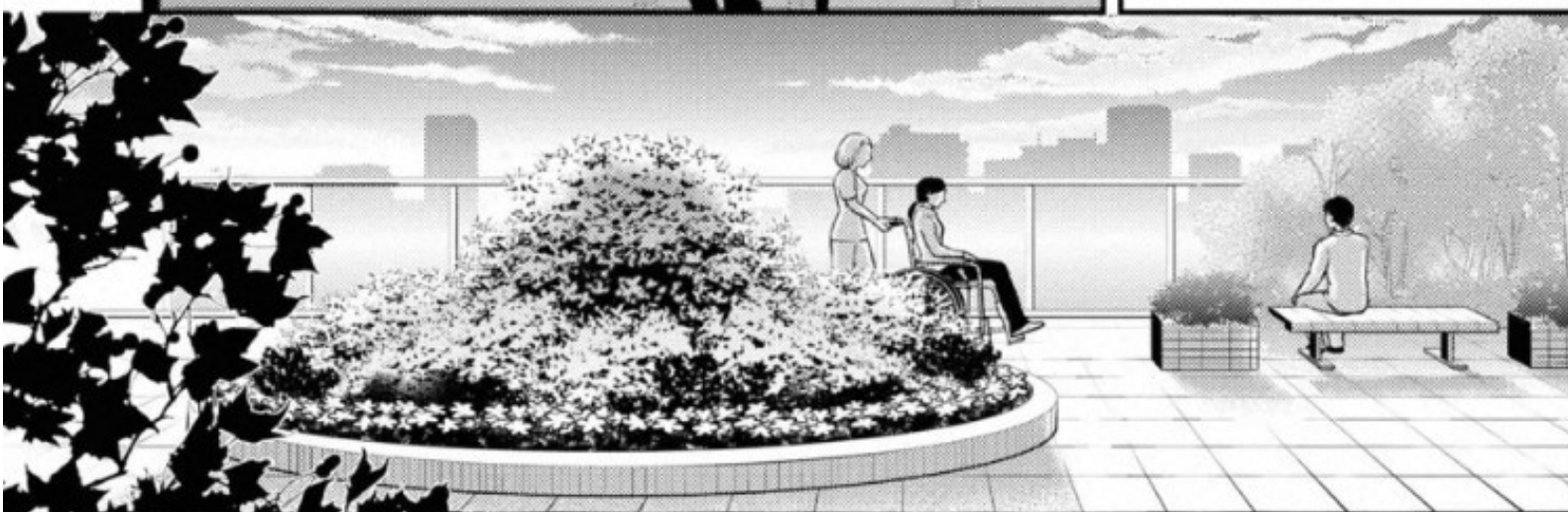
結局^{けつくり}お医者様^{いしやさま}に
止^とめられるまで
ひどいもんよ

伊吹君からしたら
ふにやふにやして
頼りなさそうに
みえるでしょうけど

いえそんな

怒るとしたら
きっと

あの子にとって
とても大事なこと
なんだと思うわ



舞花ちゃん
3個目だけど
大丈夫...?

パパにおこりすぎて
おなががすいて!





せんせい
先生がお父さん
だったらなあ…

そうだね
先生なんて
おじーちゃんに

あでもそれじゃ
舞花が大人になるまで
待たないといけないのかあ…

こういうとき
なんて答えれば
いいんだ



そしたら
みんな
一緒に暮らせる？

いやあのね
舞花ちゃん



せんせい
先生が
お父さんだったら
いいのに



パパ

なんで
気づかなかったんだろう



パパ寂^{さび}しんぼうなの

やっぱり俺^{おれひとり}一人じゃ



お父^{とう}さんが

パパと

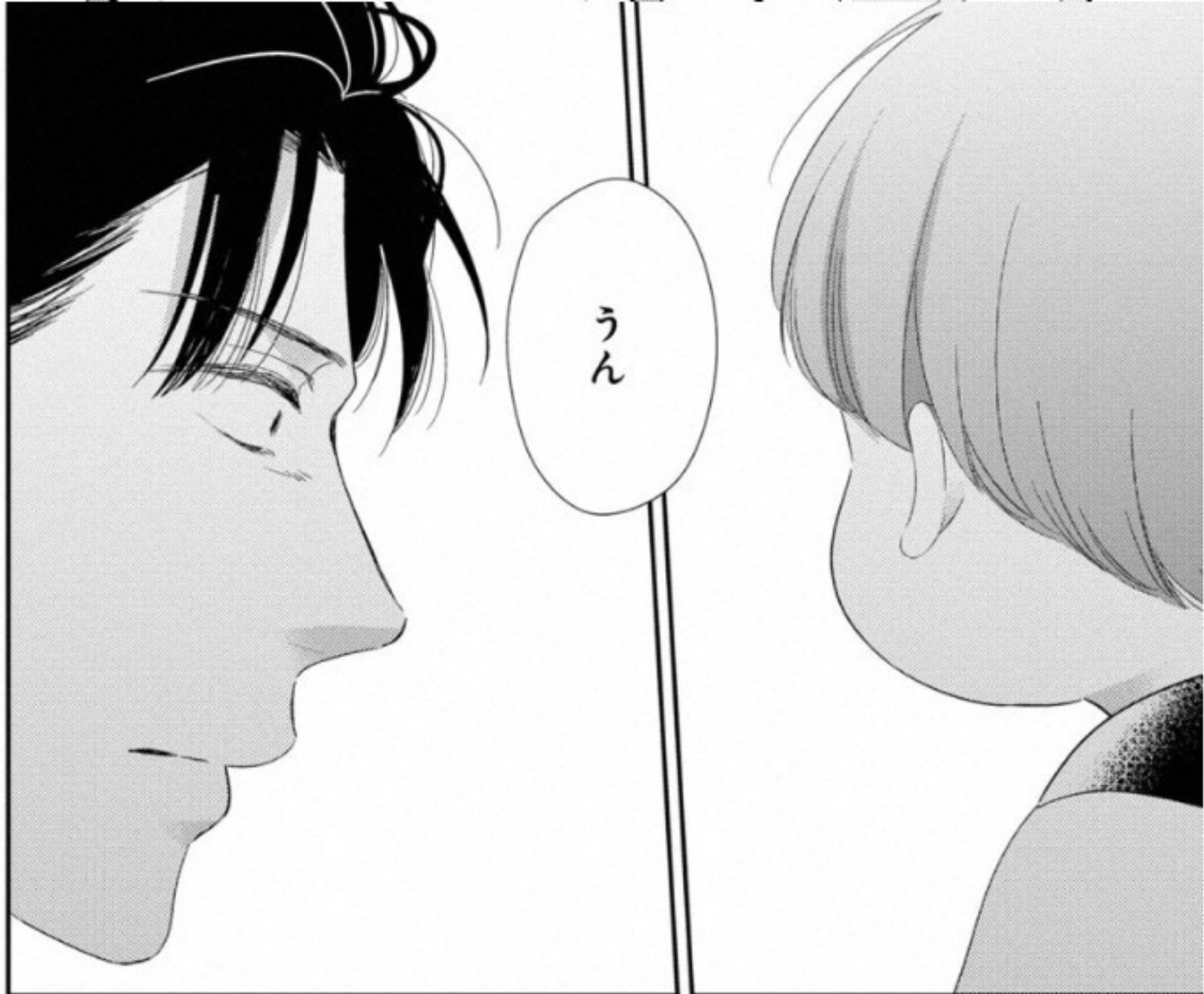
舞花^{まいか}ちゃんには…

いるの？



舞花^{まいか}ちゃん…

ん？





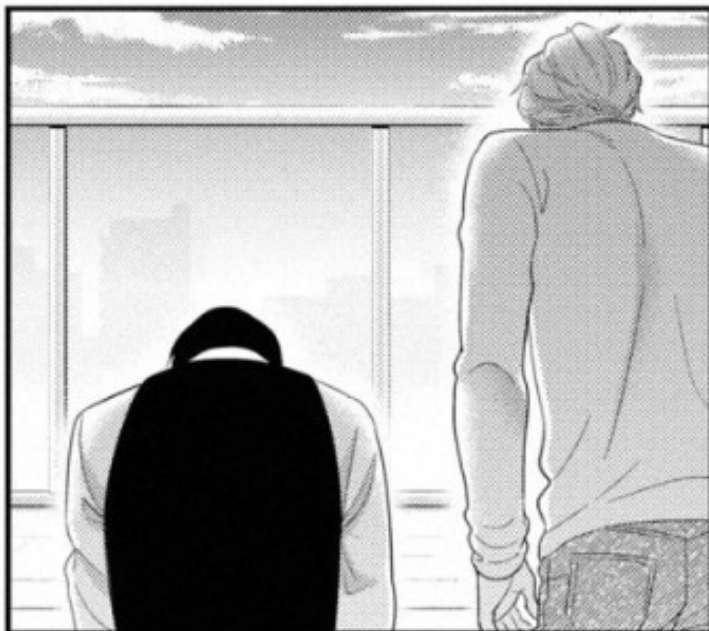
先生
さっきの話
舞花が言ったの
内緒だよ



パパ!
もう大丈夫!?

うん今
荷物片づけてるから
おばあちゃんの
手伝いしてきてくれる?

はい



…子供に聞くこと
じゃなかったよな

ごめん…



いえ…



話を：
聞いて
もらえますか
佑真さん